



地球のためにできること

駄菓子屋の無料ガチャ



無料で「ガチャガチャ」をすると、店で使える1200～2000円分の商品券が当たる。そんな子ども向けイベントを、宮城県栗原市の駄菓子屋が不定期でしているよ。国連の持続可能な開発目標

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

分け隔てなくみんな笑顔

1 貧困をなくそう



(SDGs)の1番目「貧困をなくそう」を意識した取り組みで、家庭の経済的な事情に関係なく、全ての子どもが楽しめるように企画したんだ。

駄菓子屋は栗原市栗駒の商店街にある「にじくじら遠藤商店」です。土日祝日を中心に営業し、500種類以上の駄菓子を並べています。

無料ガチャは、店主の海和隆樹さん(63)が2024年1月に始めました。店に置いた賛同箱への大人たちの寄付が、商品券の元となるお金です。その名も「大人の気持ちで回るガチャ」。年に数回、1万円を目安に

お金がたまったらガチャをしています。

対象は小学生以下で、1人1回ずつ挑戦できます。ハズレなし。商品券はその日に限り有効で、子どもたちは好きな駄菓子を買えます。寄付した大人にお礼のメッセージを書くのもルールです。

海和さんがガチャを始めた背景には、「子どもの貧困」への問題意識がありました。

厚生労働省の22年国民生活基礎調査によると、日本の子どもの9人に1人が貧困状態でした。これは毎日の衣食住にも困る「絶対的貧困」と違い、平均的な所得の半分

を下回る「相対的貧困」の状況に置かれた子どもの割合です。

海和さんも21年から店を営む中で、経済的な事情で来られない子、買いたい物を極端に我慢しなくてはいけない子の存在を感じていました。



でも、無料ガチャをするときに「子どもの貧困」を前面に押し出しはしません。子どもたちみんなが分け隔てなく、笑顔で楽しんでくれればそれでいいと考えています。

海和さんは「『みんなを見守っているよ』という地域の大人たちの気持ち、子どもたちに伝わっていればうれしいです」と話します。

◇ 次回のガチャは11月上旬の予定だよ。詳しくは店のブログや交流サイト(SNS)を確認してね。



無料ガチャの日に向けて準備をする海和さん
＝8月31日、宮城県栗原市

この日 何の日

◇17日(金) 貧困撲滅のための国際デー
1987年のこの日、フランスで貧困や飢餓の撲滅を訴える大規模な集会があったことにちなみ、国連が92年に制定しました。世界では6億人以上が極度の貧困状態にあり、その半数が子どもとされています。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どき
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 対訳備えのコンパス